

暮らしに役立つ情報満載！



住まいのニュース

2023
7
vol.152

今月の特集

二人暮らしにちょうどいい家

子どもの独立後に二人で暮らす夫婦や、子どもがいない夫婦など、二人暮らしでの戸建住宅を検討している方もいらっしゃるのではないでしょうか。そこで今回は、二人暮らしの家づくりについてのご紹介をします。

二人暮らしと言っても組み合わせはさまざま

二人暮らしの最適な部屋数や広さは、住む人のライフスタイルによって異なりますが、一般的には2LDKから3LDK程度が適切と言われています。国土交通省の「住生活基本計画における居住面積水準」によると、「健康的で文化的な住生活の基本」として必要な「最低居住面積水準」は、二人世帯で最低限「30㎡」を確保すべきだとされています。さらに、「豊かな住生活の実現」の指針となる「誘導居住面積水準」には、都心部とその周辺の共同住宅を想定したもので「55㎡」、郊外や都市部以外の戸建住宅では「75㎡」が理想とされています。

75㎡の面積は“坪”に換算すると約22坪で、“畳”に換算すると約46畳になります。一般的には、75㎡の物件といえば、ファミリー向けの2LDKや3LDKが多く、4人暮らしでも十分生活できる広さなので、二人暮らしだと余裕が感じられるほどの広さになります。

「二人暮らし」と言っても、子どもがいない夫婦や兄弟、姉妹、母子家庭や父子家庭など、さまざまな組み合わせがあるため、それぞれの組み合わせによって理想の間取りは違ってきます。例えば、

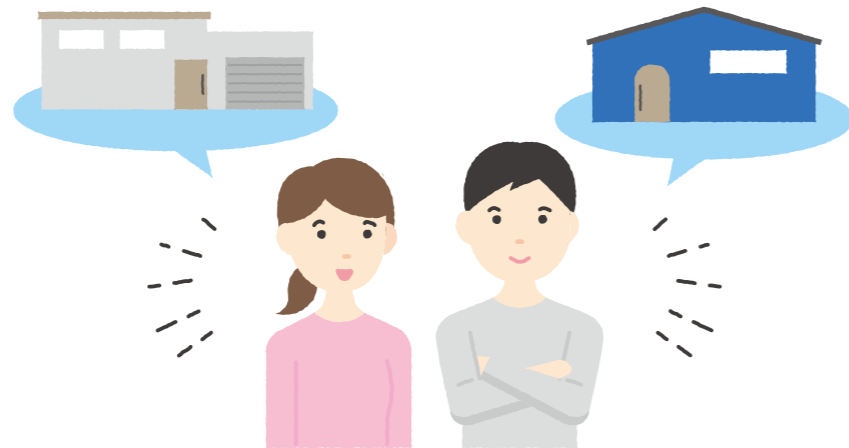
夫婦の場合、寝室を一緒にするのであれば、広くりびんぐを確保した1LDKでも問題ありませんが、兄弟や姉妹では、それぞれの個室を確保した2LDKが理想です。3LDKにすれば、それぞれの個室以外の1部屋を趣味や仕事の部屋として確保することも可能です。基本的には、個室が増えれば建築費も高くなりますので、二人でしっかり相談しながら間取りを考えるようにしましょう。

平屋も吹き抜けのある家も快適さを維持する「FPの家」

1LDKや2LDKの戸建住宅は、土地面積が少なくても済むので平屋での対応も可能です。ただし、平屋を建てる場合、1階部分の日当たりの確保が必要なので、建物に密集した地区は不向

きです。また、建ぺい率によっては十分な建築面積を確保できない場合があります。平屋は、屋根と居住空間の距離が近いので、天井のしっかりとした断熱対策を行うことが必須となります。

断熱性に優れた「FPの家」は、「FPウレタン断熱パネル」で隙間なく囲まれた「箱」に居住空間を作る、夏涼しく、冬暖かい、いつでもどこでも年中快適な超高性能住宅。そのため、たとえ平屋でも、大きな吹き抜けのある家でも、FPウレタン断熱パネルで囲んだ「FPの家」なら、快適さを維持することができます。「住み心地の良い家」は、デザイン性もさることながら機能が徹底的に追求されていることが求められます。それこそが「FPの家」が実現する住まいです。



住まいの知恵袋

二項道路



住宅を建てるためには、原則として、幅4m以上の道路に敷地が2m以上接していなければなりません。しかし、現行の建築基準法が制定された昭和25年より前に建てられた住宅は、次の例外にあたる道路であっても建築基準法上の道路とみなすとされています。

①幅4m未満の道路である ②建築基準法が適用された時点でその道路に面して現に建築物が建っていた ③一般の交通に利用されている ④特定行政庁の指定を受けている。この例外にあたる道路を、建築基準法第42条2項であることから、「二項道路」と呼ばれています。二項道路にある住宅を建て替える時には、道路の中心から2mを確保する「セットバック」を行い、住宅の敷地を後ろに下げることがあります。

お金の豆知識

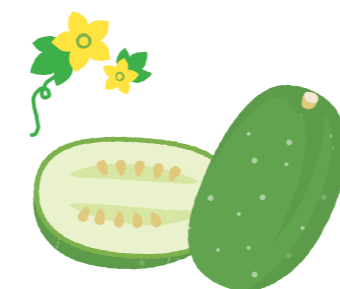
つなぎ融資

住宅の新築工事の着工金や中間金を自己資金でまかなえない場合に、金融機関から一時的に借り入れる「つなぎ融資」。短期間の資金調達を目的とした融資であり、利率が高い傾向にあります。工事の進捗に応じて段階的に融資されることが一般的で、工事が完了した後は長期融資に切り替えることが多いです。



暮らしの1ポイント

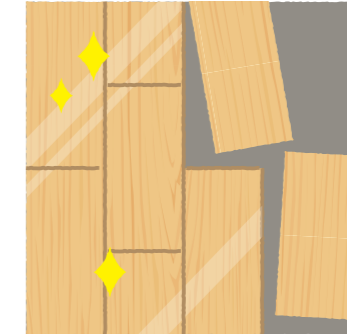
冬瓜(とうがん)



漢字で「冬」に「瓜」と書く「冬瓜」は、冬ではなく夏に旬を迎えます。カリウムを含み、体内の余分なナトリウムの排出を促す効果があり、体内の塩分バランス維持効果が期待できます。また、冬瓜に含まれるビタミンCは、シミやそばかすの原因になるメラニンを抑える働きがあり美肌効果も期待できます。

！できた！簡単DIY

フロアタイルで床をDIY



リアルなエンボス加工で再現した、本物と見違えそうな木目の「フロアタイル」。今回はこのフロアタイルを使ったリフォームDIYをご紹介します。フロアタイルとよく似た床材に「クッションフロア」というものがありますが、こちらも同じくDIYで使用される素材で、タイル状になっているかシートになっているかの違いがあります。フロアタイルは一枚ずつ、タイルを敷いて施工するので、初心者でも扱いやすいのでオススメです。施工のコツは部屋の中心から十字に敷くこと。ボンドを使わない吸着タイプであれば、隙間なく並べるだけなので施工も簡単です。部屋の端に合わせるようにタイルをカッターで切って、サイズを合わせればピッタリと施工できます。

おしえて！

Dr.住まいる

洗濯物をしっかり乾かすポイント

梅雨の時期に困るのが洗濯物。濡れたまま放置すると雑菌が繁殖し、生乾き臭の原因にも。部屋干しでもしっかりと干すコツは、洗濯物同士の距離を十分に取り、15cm以上の間隔を空けましょう。また、扇風機やサーキュレーターエアコンの風をあてたり、仕上げにドライヤーを使ったりするのも有効です。

